

## 第1学年SS課題研究I 第1回

## 教員用 授業の流れ

## 1 授業実施場所

鴻志館

\*女子前，男子後の2列（話し合い活動をするため，偶数列が望ましい）。

話し合い，列間巡視のために，前後・列間を広めにとる。

## 2 生徒の持ち物

課題研究メソッド，筆記具，筆記補助具（ボードなど，あれば）

## 3 教員の準備するもの

配付プリント（2枚），PC，実態投影機，プロジェクタ【SS事業部】

放送設備（マイクなど）【学年担当】

## 4 授業展開例

	時間	学習内容	教員の指導・留意点
導入	15:20 ～	①鴻志館に集合 SS事業部より，授業開始の挨拶	○話し合い活動を想定して，女子前，男子後の2列。中央・前に詰めるが，前後・列間をやや広めにとる。
展開	15:25	②ワークシートに沿った講義 1 課題研究とは何か？ Q1 課題研究って何？ Q2 自由研究と課題研究の違い  2 課題研究のステップ  3 課題研究の特徴  4 課題研究において気をつけるべきポイント	○生徒どうしの自由討議。 先生方は，生徒どうしの話し合いを促進させるように，列間巡視やお声かけを行ってください。 御自身が大学（大学院）時代，教員（社会人）になってから行った研究について触れられてもよいかもしれません。 ○年間予定表を用いて，見通しを解説する。 「リサーチクエスト」というキーワードをおさえる。 ○「課題研究メソッド」の該当ページのほか，最近の事例や時流について，教材提示ができるとうい。 ○「課題研究メソッド」の該当ページを用いて指導。 「マジックワード」というキーワードをおさえる。
まとめ	16:00	③課題発見にむけての考察 ワークシートに書き出すほか，時間があれば情報を共有し，発表する活動を行う。  ④次回の予告	○生徒どうしの自由討議。 先生方は，生徒どうしの話し合いを促進させるように，列間巡視やお声かけを行ってください。  ○次回は各クラスで，日常生活の疑問から課題を発見する例を取り上げることを予告する。 =Sense of Wonder